

# 3 クレジットのはなし

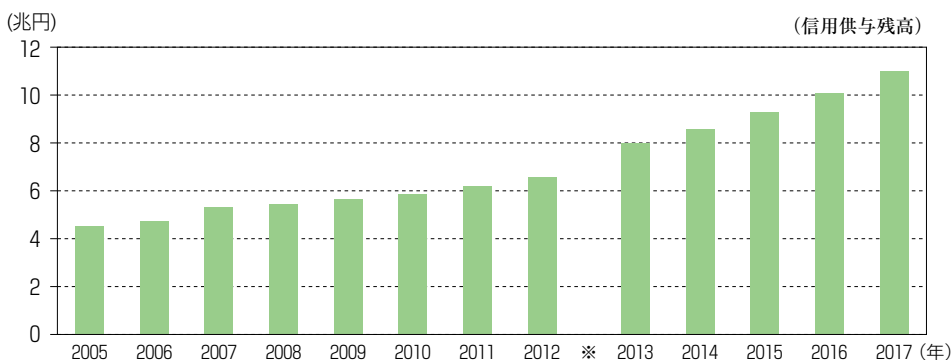
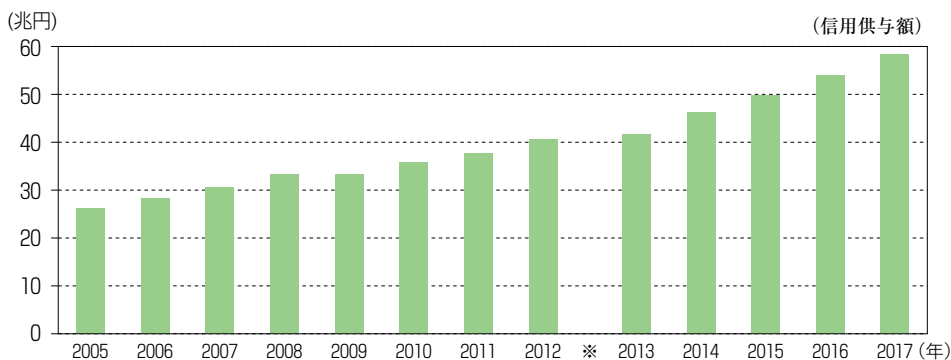
## ◆クレジットってどんなしくみ？

ブランドものの財布や洋服を買ったり、車の免許をとったりするには、必ずお金を支払わなければなりません。その場合、現金で全額を払う代わりに、何回かの分割払いにしたり、数ヶ月先（例えばボーナス日）に支払日を延ばしてもらう方法などがあります。

- 5 また、自分の代わりに第三者（クレジット会社など）に代金全額を立て替えてもらい、クレジット会社にあとで支払うこともできます。これらをクレジット契約といいますが、クレジットを使うことは“借金”をすることと全く同じであることに注意しましょう。

## ◆クレジット市場の推移

### クレジットカードショッピング



※2013年より集計方法の見直しを行っているため、2012年以前の数値との連続性はない。

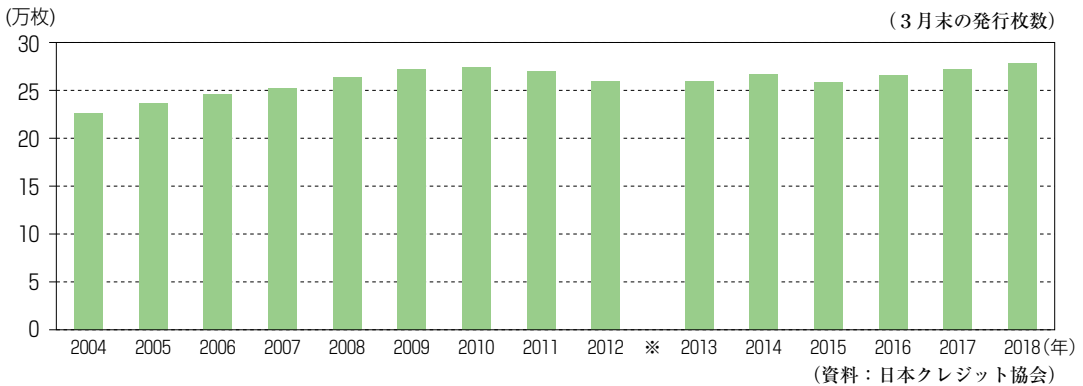
(資料：日本クレジット協会)

クレジットカードを使って買い物をする金額は、上図のように増加しています。クレジットカードの利用残高も、下図のように増加しています。

# クレジットは夢のしくみ?

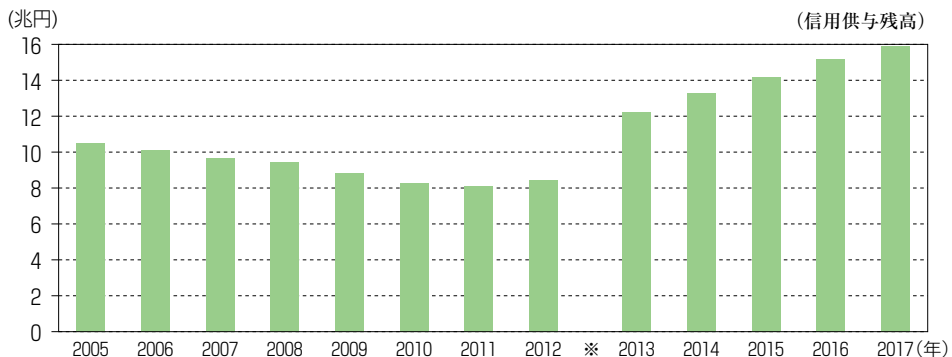
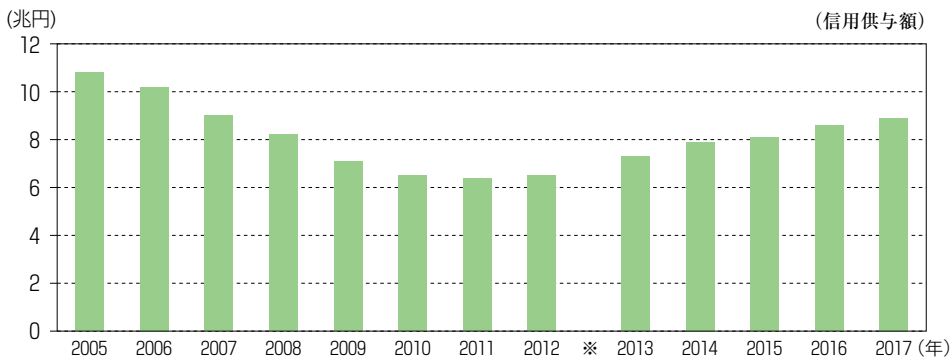


## クレジットカード発行枚数



クレジットカードの発行枚数は、2018年3月末では約2億7,800万枚です。成人1人が平均では2.7枚のクレジットカードをもっていることとなります。

## ショッピングクレジット



※2013年より集計方法の見直しを行っているため、2012年以前の数値との連続性はない。

(資料：日本クレジット協会)

クレジットカードを利用せず、商品を購入するときにクレジットを申し込む方法があります(ショッピングクレジット、個別販売信用)。その利用金額(上図)や利用残高(下図)は、減少傾向にありましたが、最近では再び増加しています。

# 3 クレジットのはなし

## ◆クレジットは消費者に便利だけか……

クレジットは、手元に現金がない場合、消費者（物を買う側）にとって便利である一方で、分割払いにしても立て替え払いにしても、クレジットを利用すれば、手数料という名の利息をつけて払う必要があります。

- 5 実は販売業者（デパート、専門店など）やクレジット会社はもちろん、金融機関（銀行など）にも利益（メリット）があることを知っていますか。



“販売店の利益” 手もち金が少ない人にも商品をすすめることができるため、買う人が増え、売り上げが多くなります。クレジットカード会社などに立て替えてもらえば、売り上げ金が確実に入ります。



“クレジット会社の利益” 立て替え払いをした消費者から年12～15%の手数料（ショッピング手数料）を受け取るばかりでなく、販売店（加盟店）からも年1～7%の手数料が入ります。



“金融機関の利益” クレジットを利用する人の支払いは、銀行などの口座から自動引き落としされるのがほとんどなので、金融機関のお客が増え、預金の取り引きも当然に増えます。

## 失敗しないための **5** つのアドバイス

20 **キャッチセールス、  
アポイントセールス、  
悪質な訪問販売があなたを狙っています。**

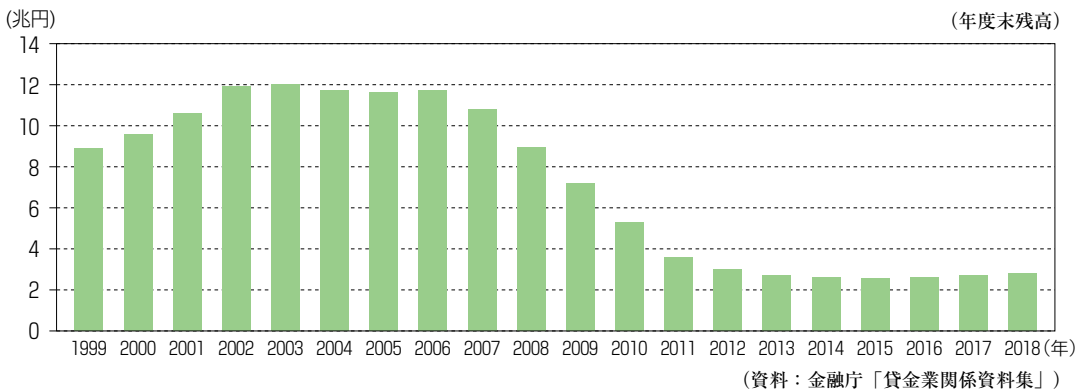
- うまい話には近づかない。
- その場ですぐにサインをしたり印鑑（はんこ）を押したりせず、契約書や説明書をもち帰るなどして、よく読んで確かめる。契約を急がせるセールスはあやしい。
- おかしいと思ったらきっぱりと断る。
- 買う前に家族とよく話し合う。
- 一人で悩まず、すぐに相談を。➡p.45



## ◆消費者金融

消費者金融は、消費者にお金を貸すことです。これもクレジット（消費者信用）の一部です。

### 貸金業者の消費者向け貸付（無担保）

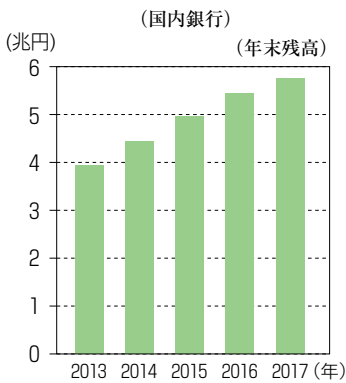


貸金業者の消費者向け貸付（無担保）の残高は、2007年から減少に転じましたが、最近ではほぼ横ばいとなっています。

5

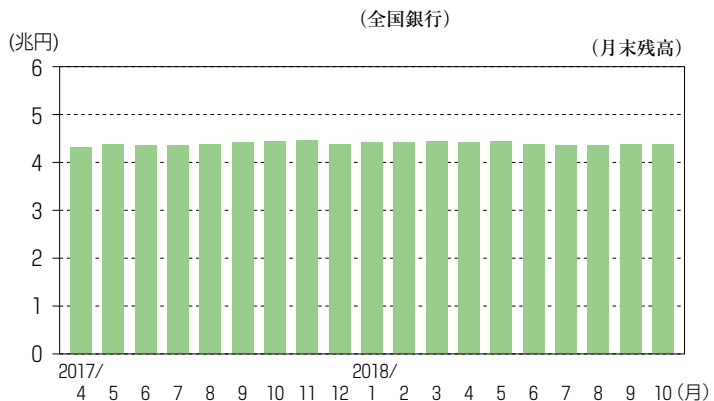
### 銀行のカードローン等

銀行も消費者向けにカードローン等を行っています。ここ数年増加してきましたが、最近ではほぼ横ばいとなっています。



(注) 12月末時点

(資料：日本銀行統計)



(注) 月末時点

(資料：全国銀行協会金融関連統計)